

卓 話

平成 23 年 4 月 19 日

『東日本大震災について』

岐阜中ロータリークラブ 長井義夫 会員

今日は先日 3 月 11 日の東日本大震災についてお話をさせていただきます。弊社には宮城県仙台市に営業所があります。被災の日にほとんどの社員の安否確認が出来ましたが、石巻市に住んでいる社員 1 名と連絡が取れませんでした。3 日経過してから元気であると連絡がありましたが、自宅が被災して困っているとのことでした。仙台支店の社員より、緊急物資を送ってほしいと連絡がありましたので、そのリストに基づいて岐阜の本社にて手配する運びとなりました。カセットコンロ、カップ麺、ラジオ、電池、お菓子、花粉症の薬など、準備をしていましたが、単一乾電池だけはどこを探しても見つかりませんでした。結局、鹿児島県の知人をお願いして、購入する事が出来ました。幸い 18 日より、佐川急便の宅配が仙台営業所止まりで、営業を開始しておりましたので、緊急物資をそこに送ることが出来ました。



4 月 13 日（水）に大阪伊丹空港より山形空港に飛び、翌日に仙台市内に入りました。仙台駅の正面は地震による被災を受けており全面改修工事をしていました。仙台市内を走る車でも県外の車がたくさん走っていると思いました。その後、石巻市に向かい、社員の自宅を訪問し見舞いの品と義援金を手渡し、その足で石巻の港を見に行きました。日台山神社という小高い山があり、石巻市街を一望できる場所に行きました。この場所の隣では、石原プロの炊き出しが行われていました。見える限り全てが戦争後のような悲惨な状態と化していました。被災されました皆様、ご家族の方々に対しまして心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

『 雑 感 』

岐阜中ロータリークラブ 臼井英雄 会員

私達の菓子業界のビジネスの流れは大きく変化しています。大きな変化の波が起きていますが、その波に飲み込まれる会社と、乗る会社の 2 極化が急速に進んでいます。

私は、こういう時代だからこそ経営の原理、原則が大事だと思います。トップ自ら営業に同行し、顧客満足度を上げ、市場の変化を敏感に受け留めて、会社の向うべき方向を見定めていきたいと思っています。

